

# 常任委員会の審査から

## 営業戦略農林水産委員会

### 常陸牛燐は生産者の所得向上につながっているのか 常陸牛よりも高値で取り引きされ、所得増につながっている

**問** 常陸牛燐は、常陸牛よりも販売価格が高いと聞くが、生産者所得は増えているのか。

**答** 常陸牛燐は飼養期間が常陸牛より長く、飼料費が増えるが、増額となる生産費を上回る価格で取り引きされているため生産者の所得増につながっている。出荷頭数が増加するよう、引き続き生産対策に取り組んでいく。

**問** 米の価格が上昇する中、需要と生産の調整が必要と考えるが、再生産価格の確保についてどう考えるか。

**答** 資材高騰の中で経営を安定化するには必要最低限の価格の担保が必要である。需要



常陸牛燐のステーキ

が高くと、次作の生産量の増加も想定されるため、急激な価格下落につながるような生産団体と共に対応していく。(ほかに、石岡台地区債還対策資金貸付金の債権放棄の経緯、イバラキセンスの取り扱い商品の改善なども質問)

## 総務企画委員会

### オンラインではなく書面を求める市町村手続きに対する認識は一部で対面の手続きはあるが、オンライン化を働き掛けていく

**問** 市町村における各種手続きでは、オンラインでできる手続きであっても、書面での手続きを求められることがあるが認識は。

**答** 介護や保育などの一部手続きでは、家庭状況の把握のため、対面で手続きを行う市町村もある。申請の負担軽減や業務の効率化などのメリットを訴えながら、手続きのオンライン化を働き掛けていく。

**問** 鹿島セントラルホテルの売却で、鹿島都市開発株式会社は約18億円を得るが、県への貸付金償還の見通しは。

**答** 昨年度末時点の貸付金残高は約57億円である。譲渡に



鹿島セントラルホテル(新館)

要した諸費用を含め、繰り上げ償還について調整を行うとともに、譲渡後の事業規模などを考慮した年度償還額の見直しなどを検討していく。(ほかに、ふるさと納税の返礼品の動向、公益通報制度の運用状況なども質問)

## 土木企業立地推進委員会

### 産業集積を視野に入れた企業誘致の取り組みは国の動向などを踏まえ、本県の強みを生かした企業誘致に注力する

**問** 7年連続全国第1位である県外企業立地件数は県南・県西地域が多い。さらなる産業集積を視野に入れた企業誘致にどう取り組むのか。

**答** 国の成長戦略などの動向を踏まえながら、県北臨海部の先端産業、つくばの最先端科学技術の集積など、本県の強みを生かした企業誘致に注力していく。

**問** 国が主導する防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の予算を活用した取り組み状況や予算の確保に向けた今後の対応は。

**答** 災害に強い道路ネットワークの構築や浸水被害軽減のた



中丸川における調節池整備(ひたちなか市)

めの河道掘削などを実施してきた。最終年度となる来年度も必要な予算を確保できるように、国に要望していく。(ほかに、道路舗装修繕の平均的な頻度、水道事業の広域化に係る市町村からの意見なども質問)

## 防災環境産業委員会

### 干し芋残渣活用の取り組みに対する支援は食品残渣の再資源化に取り組み事業者を支援する

**問** 干し芋残渣活用の取り組みに対する支援をどのように推進するのか。

**答** 食品残渣の有効活用に係る事業者のニーズは大きいと認識している。このため、今年度は、干し芋を含む食品残渣の再資源化に取り組む事業者への支援を行っている。その結果を踏まえ、今後も効果的な取り組みを検討していく。

**問** 新規立地企業の採用状況について行ったアンケートの回答率が22%と低い理由は。

**答** 調査期間が短かったことや過去10年間の詳細な項目まで要請したことが要因と考えられる。関係部局や企業と連



干し芋残渣を乾燥した飼料用粉末

携を強化し、しっかりとデータの把握に努めていく。(ほかに、いばらき業務改善奨励金の申請状況と最低賃金引き上げに伴う基準額改正の検討、茨城ベンチャートライアル優良商品等創出事業者認定制度の広報手段なども質問)

## 文教警察委員会

### いばらきオンラインスタディ<sup>※1</sup>の活用拡大に向けた取り組みは高校の学習動画の配信を行う

**問** いばらきオンラインスタディ<sup>※1</sup>について、認知度向上や高校生向けの動画配信など、活用拡大に向けた取り組みは。

**答** 動画再生数などから中小学校の児童生徒やその保護者には十分に浸透していることが予想される。今後は、高校の学習動画の配信を行い、対象の拡大を図っていく。

**問** 性犯罪やDVなどの被害にあった男性が相談しやすい体制を整備すべきと考えるが、県警察の取り組み状況は。

**答** 勇気の電話<sup>※2</sup>や#9110<sup>※3</sup>において、相談者の要望に沿った性別の職員による対応を可能としている。今後は、



性犯罪被害相談「勇気の電話」

県民のニーズに応じて、男女ともに、より相談しやすい体制整備を検討していく。(ほかに、ナンバースクールの校名に関する検討の在り方、茨城県特定金属類取扱業に関する条例の施行により期待される効果なども質問)

## 保健福祉医療委員会

### 救急搬送における選定療養費徴収について県の責任は運用全体は県の責任の下で行っていく

**問** 選定療養費は病院が徴収することだが、運用に当たっては県も責任を持って病院などと一緒に取り組んでいくべきではないか。

**答** 今回の運用見直しは県主導で行っており、救急隊や医療現場が困らないよう、県による対応窓口の設置や統一的な基準づくりなど運用全体は県の責任の下で行っていく。

**問** 指定障害者支援施設などでの虐待事案について、改善状況および再発防止に向けた取り組みは。

**答** 事業者への現地調査などを実施し、現時点で改善されていることを確認している。



茨城県救急電話相談ダイヤル

また、改善計画の提出を求めており、その計画が確実に実行できるかも含めて引き続き現地調査などを行っていく。(ほかに、#7119、#8000相談窓口の人員確保状況、潮来保健所庁舎移転先選定の経緯なども質問)

※1 【いばらきオンラインスタディ】…インターネット上にアップロードされた学習動画。家庭学習や学校での授業に活用されている。  
 ※2 【勇気の電話】…性犯罪の被害者やその家族を主な対象とした電話相談窓口。  
 ※3 【#9110】…犯罪被害の未然防止、県民の安全などに関して広く電話相談を受け付ける窓口。